

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	中学校学校図書館図書充実事業		
事業担当	学校教育部 教育総務課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	人間力 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'06	6 教育施設・機能を充実する	
根拠法令等	学校図書館法、子供の読書活動の推進に関する法律、文字・活字文化振興法		
対象・受益者	生徒・教員	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
学校図書館をさらに充実することで、生徒の主体的な学習が可能になり、豊かな情操・確かな学力がはぐくまれています。		学習情報センターとしての学校図書館を機能させるため、調べ学習等で利用する学校図書館図書を充実します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	学校図書館図書標準冊数に対する充足率			単位	%
	説明・算定式	蔵書数 ÷ 学校図書館図書標準冊数 × 100				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	89	90	91	91.5	
	実績	76.5	77.7	78.7		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：若干遅れている					
	遅れている理由	購入冊数は前年に比べてほぼ同数であるが、更新のため古い図書の廃棄数が増加したため。				
平成26年度の主な取組と成果						
学校規模等に応じた予算のほか、各校一律の追加配当予算により図書の整備を行い、学校図書の充実を図りました。						
平成26年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	学校図書館図書の整備は市の施策として充実されるべきものと考えてます。図書購入費を追加配当することにより、学校図書館図書が整備されます。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	文部科学省で定める学校図書館図書標準に対し整備率が低いことから継続して学校図書館図書の整備に努める必要があります。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	学校図書館図書を整備することは、生徒が自己教育力を養ううえで重要な役割を担っており、主体的な学習が可能となり、かつ豊かな情操を育むことができます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	各学校で予算執行するため取りまとめに時間がかかるので検討が必要です。	高中低
今後に向けた課題の分析 国が定めた標準冊数を早期に確保するとともに、古くなった図書の適切な整理や、学校図書館内の環境整備も必要です。また、学校間での充足率の格差を是正するため、計画的な図書の整備が必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		図書の充実	図書の充実	図書の充実	図書の充実
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	300	0	0
	一般財源	5,017	7,032	8,037	6,351
事業費 (A)		5,017	7,332	8,037	6,351
執行率 (%)		99.35	99.50	99.79	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 学習環境の向上を図るため、国が定める標準冊数の確保、また学校間での充足率の格差是正に向けて図書の整備に取り組んでいきます。
課長コメント 学校図書は、生徒の知的活動を増進し、人間形成や情操を養う上で学校教育上重要な役割を担っています。文部科学省が策定した「学校図書館図書標準」に沿い、学校図書館図書の整備を図っていきます。